

理研RALミュオン施設での研究の現状

Recent Progress at the RIKEN-RAL Muon Facility

石田 勝彦 氏(岩崎先端中間子研究室)

Dr. Katsuhiko Ishida (Advanced Meson Science Laboratory)

理研RAL支所のミュオン施設では世界最高瞬時強度の正または負のミュオンビームが利用できる。4つある実験ポートには、それぞれ特色ある実験装置が置かれており、1) ミュオン触媒核融合研究、2) 稀少ミュオン原子生成、3) ミュオンスピンをプローブとした物性研究 (μ SR)、4) 超低速ミュオンビームの生成、が進行中である。

講演ではミュオンの基本的性質、施設の紹介から始めて、各実験の目標、最近の進展をなるべく平易に述べる予定である。

Oct. 17 (Tue), 2006 13:30-
Nishina Hall

The Colloquium will be given in Japanese.

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer

seminar@rarf.riken.jp

<http://rarfexp.riken.jp/~seminar>